

## 札幌大谷大学社会学部主催 特別公開文化講座・フォーラム

### 「現役外交官が語る海外経験とアメリカの大学生活—米国大学のパワーと魅力」

開催日時： 11月20日(火) 午後3:00～4:30

開場 2:30 開演 3:00

開催場所： 札幌大谷大学北16条東9丁目キャンパス 大谷記念ホール

概要：

#### 第1部 (60分)： 在札幌米国総領事イングラッシア領事による講演

40分 講演 アメリカの大学生活の魅力を実役米国外交官が様々な面から紹介します。

20分 質疑応答 (必要に応じて逐次通訳が付きます)

#### 第2部 (30分)： フォーラム (司会進行・逐次通訳は本学教員が行います)

イングラッシア領事、青山TGセミナー代表 伊藤伸哉氏、札幌大谷大学美術学科 下濱晶子教授によるフォーラム。日本人パネリストから米国留学体験談を聞いた後、アメリカの大学で学ぶことについて、パネリストとフロアの皆さんとで質疑応答の時間をもちます。

アメリカ留学に関心のある  
高校生の皆さんや  
一般市民の方々の  
ご参加を歓迎します!

#### 講演者・パネリスト： ライアン・イングラッシア広報文化交流担当領事



ライアン・イングラッシア(Ryan Ingrassia)氏は、2018年8月に在札幌米国総領事館に広報文化交流担当領事として赴任した。2011年に米国國務省に入省後、アフガニスタンと南アフリカ共和国の米国大使館、およびオーストラリアの在シドニー米国総領事館での外交官経験を経て現職に就いた。

南カリフォルニア出身で、南カリフォルニア大学より映画専攻で美術学士号を、ワシントンDCにあるジョージタウン大学院より外交政策学修士号を取得。その後入省までの間、米国政府のボランティア活動団体「アメリコー」(AmeriCorps)に参加して、フロリダの外来植物種の根絶や、米南東部の沼地に木道を建設するなどの国内プロジェクトに携わり、また、シンガポールにて大学で映画を講じ、テレビ業界で脚本家として働く経験を得る。

日本との関わりは、日本内閣府主催の国際交流プログラム「世界青年の船」事業の参加者として2004年に初来日したことに始まる。富山県のホストファミリー宅に滞在した後、約150名の日本の若者達と一緒に太平洋とインド洋を巡る航海を経験した。この時に得た経験から、世界への理解を深めるための機会を若い世代に提供したいという目標を持ち、米国國務省に入省するに至った。

#### パネリスト： 伊藤 伸哉 氏 (青山TGセミナー代表、東海大学札幌校デザイン文化学科非常勤講師)



神戸須磨出身。小学校から中学校までアメリカのシカゴ近郊で過ごし、帰国後、東京学芸大学附属大泉中学校(特殊学級)に編入し、日本語リハビリを続けながら東京大学に進学。教養学部文化人類学科卒業後、教育学部の大学院に進み、自らの異文化体験を軸に、異文化間理解、異言語習得プロセスの研究や、産学連携の帰国子女研究を行った。東京大学教養学部比較文学比較文化系博士課程修了。

博士課程在学中、独自の学習理論を実証すべく、ビジネススクール留学指導に携わり、1995年、海外トップ・ビジネススクールへの留学を支援する「青山TGセミナー」を創立。MBA留学を目指す社会人のための本格的な学校でありながら、留学支援に終わらない、「知的な人々の交流と啓発の場」を目指す。

東海大学札幌キャンパスで「企画構想論」、「キャリアデザイン論」、「現代文明論」などを教えながら、将来ゴールをしっかりと持つ大学生、高校生への講演などを通し、「世界標準」の思考・行動ができるリーダー人材育成に取り組んでいる。2012年、「青山TGセミナー札幌キャンパス」を設立。さらに、高校生、中学生、小学生のための「グローバル・コミュニケーション塾 And Beyond!」を開校。東京や大都市圏以外の地方で、「自然環境の豊かな地方だからこそ、世界に羽ばたける人材を育成できる」という信念に基づくプロジェクトを推進している。英語教育、人材育成のほか、芸術、特に美術、建築、環境デザインにも深い興味を持っている。

#### パネリスト： 下濱 晶子氏 (札幌大谷大学芸術学部美術学科教授)



幼少期に小学1年までアメリカのシカゴ市で過ごし、帰国後、北海道教育大学附属札幌小学校に編入し、父親の異動で金沢大学附属中学校に転校。同附属高校から東京藝術大学美術学部芸術学科へ進学、同大学院美術研究科修士課程修了後、夫の留学先の米国カリフォルニア州でサン・ディエゴ州立大学大学院の芸術学修士号を取得した。東京藝術大学、大東文化大学などの非常勤講師、宝塚大学准教授を経て、現在、札幌大谷大学教授、放送大学と札幌医科大学で兼任講師を勤める。

専門は美術史。論文に「美術研究者のためのアメリカ案内」、「The Interrelationship of Man and Nature」、著書・共著に『ロートレック』(日本経済新聞社)、『NHK日曜美術館 名画への旅 15』(講談社)、『世界美術大全集 18』(小学館)、『バラの美術館』(集英社)などがある。

米国と日本、札幌と京都という対照的な土地に住んだことで異文化の交流に関心を寄せ、西洋や日本の垣根を越えて、美術史、工芸デザイン、服飾、仏教、認知症とアートなどの幅広いテーマで講義や講演を行っている。